

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除所長

平成 1 6 年度病害虫発生予察注意報第 5 号について  
平成 1 6 年度病害虫発生予察注意報第 5 号を発表したので送付します。

---

## 平成 1 6 年度病害虫発生予察注意報第 5 号

平成 1 6 年 9 月 6 日  
宮 崎 県

病害虫名 トマト黄化葉巻病  
病原ウイルス：トマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV)  
媒介虫：シルバーリーフコナジラミ

作物名 トマト・ミニトマト・中玉トマト

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 育苗期および定植期

### 3 注意報の根拠

1) 平成 16 年 8 月現在、県内家庭菜園 (調査園数 286 件・栽培株数 3060 株) での TYLCV 発生園率は 36 %、発病株率は 26 % である。トマト産地である児湯地域での発生園率は 66 %、発病株率は 60 %、中部地域での発生園率は 58 %、発病株率は 48 % でかなり高い発生率となっている。(表 1)

2) 県内では平成 13 年に TYLCV の初発生がみられ、その後発生地域および発生面積が確実に増加しつつある。(平成 16 年 6 月 4 日付で警報第 1 号を発表)

3) 現在、施設トマトの育苗中であり、苗時期に感染すると被害が著しいため、厳重な注意が必要である。

### 4 防除上の注意

1) 育苗期に感染すると被害が激しく、全滅する場合もあるので、育苗ハウスには必ず開口部に 0.8 mm 以下の防虫ネットを設置する。できれば 0.4 mm 以下の目合いが望ましい。

2) 育苗初期からシルバーリーフコナジラミ防除を徹底し、定植時の粒剤処理を行って、定植初期のシルバーリーフコナジラミを防除する。

3) ほ場周辺の雑草はトマト黄化葉巻病の伝染源 (ノゲシ類、ウシハコベ等) 及びシルバーリーフコナジラミの増殖源となるため、除草を徹底する。特にセイタカアワダチソウやアキノノゲシはシルバーリーフコナジラミの重要な増殖源である。

4) 発病株は伝染源になるので、根ごと抜き取り、土中に埋めるかビニル袋に入れて枯れるまで密閉する。ウイルスは植物全体に存在しているので発病部位を除去しても伝染源になるため、必ず株全体を除去する。

5) 防除薬剤等その他の詳細については、最寄りの農業改良普及センターまたは病害虫防除所に問い合わせること。

表 1 . 県内家庭菜園における TYLCV 発生状況

普及センター	発生園数	調査園数	発生園率	発病株数	栽培株数	発病株率	トマト栽培面積( )
中部	18	31	58%	150	312	48%	67.7
南那珂	1	10	10%	2	239	1%	1.3
北諸県	0	8	0%	0	17	0%	5.9
西諸県	0	24	0%	0	229	0%	9.6
児湯	66	100	66%	509	852	60%	58.1
東白杵南部	16	42	38%	67	234	29%	8.7
東白杵北部	0	61	0%	0	1059	0%	1.3
西白杵	3	10	30%	63	118	53%	21.7
県全体	104	286	36%	791	3060	26%	174.3

調査期間 :平成 16年 7月 1日 ~ 8月 9日

市町村集計による野菜生産出荷実績並びに計画 15年度実績」より抜粋 (面積 ha)

《連絡先》

病害虫防除所 興相  
 TEL : 0985-73-6670  
 Fax : 0985-73-7499